

令和5年9月1日

青森県知事 宮下宗一郎 殿

大池系発電所の水利使用に係る検討協議会
会長 佐々木幹夫

「大池系発電所の水利使用に係る検討協議会」意見について

「大池系発電所の水利使用に係る検討協議会」は、赤石川ほか3河川における河川環境及び水利使用状況等を検証し、今後のあり方について、下記のとおり意見を取りまとめたので提出する。

記

1. 赤石川、追良瀬川、笹内川及び小峰沢川への放流量について

平成15年から実施している各河川への増放流について検証した結果、河川環境の改善に一定の効果があったと認められることから、今後も下表に示す放流量により運用していただきたい。

基準地点	赤石ダム	追良瀬堰堤	笹内堰堤	小峰沢堰堤
放流量(6月～9月)	0.399m ³ /s	0.368m ³ /s	0.123m ³ /s	0.046m ³ /s
(参考) 上記期間以外の放流量	(0.137m ³ /s)	(0.126m ³ /s)	(0.042m ³ /s)	(0.016m ³ /s)

2. 赤石ダムの堆砂問題について

赤石ダムの堆砂については、関係者間の協議のもと、赤石ダム排砂門からの排砂を継続していただきたい。

3. 赤石ダムへの魚道の設置について

赤石ダム上流では、魚類の地域個体群が維持されている可能性が高い。

魚道設置の検討は、全面的に行っており終了してよい。

大規模工事を伴う魚道の設置は現実的ではないこと、また、設置したとしても維持管理が不可能なことから、魚道設置はしなくてよい。

4. 水利権更新の判断について

当協議会の目的を達成したことから、今後の水利権更新については、県の判断で行って良い。

附帯事項

これまで実施してきた河川環境に関する調査に、赤石ダム上流における魚類生息状況の調査を加えた上で、継続していただきたい。